

三月十四日、日新現代書研展に来場していた新発田市の川口様がこの書を紙に写していましたが、思わず写真に撮ってお送りしますと約束しました。そのために作ったPDFです。

甲子園の詩 84

モロツコの金メダル

阿久悠作

粘り強くあつまで粘り強く
耐えて耐えて耐えぬ女
そしていつか活路を見出す
一点ぐらゐと思えば五点になる
もう駄目かと思えば全てが崩れる
一勝したら充分だと甘えたら
相手の蹂躪にまかせて恥をかく
精神の揺らぎをぐくぐと保ち
念力でいや恐るべき粘力で
危機を切り抜けつづけた
新潟南高校
その力はあたかも

野球の一回の危機を
日本海の風雪に比ぶたら
何のことはなむといわんばかりに
黙しとーかし思ふこと
投げ守った

危機は何度あったか

毎日が危機でありながら

崖っぷちで力を発揮する

冷静でも闘争心も

その時になって底力を見せる

決して諦めないこと

これですよといわんばかりに

決して諦めないこと

普通の事ですよといわんばかりに

エースが耐えり投げぬき
代打の主将が追撃の火をつけ
超美技のシフトが
そのラッキーを攻撃に持ち込ん
あの巨たなまことに華やかな
エースの一球を誘い出した
さあこれからモロッコの金メダルは
さあみたちであるらーい

浅田 甲午 五月 廿一日

浅田 甲午 五月 廿一日

